



# 車輪梅

<鹿島中学校 学校だより>

【平成29年3月号③】

春の気配が感じられる季節になりました。

## 《重点目標》『夢の実現に向けて、主体的に行動できる生徒』

早いもので、平成28年度も今週で終わりです。子供たちは、1年間、進級に向けて学習のまとめに一生懸命取り組みました。過日の卒業式でも、約束事を守り、精一杯歌い上げ卒業生を送り出し立派な態度でした。

また、先週末のPTA例会にご出席いただきありがとうございました。今年度の1年間、鹿島中学校PTAの皆さまにおかれましては、本校教育活動にご理解とご協力を賜りまして本当にありがとうございました。

### 【同窓会入会式の実施】



(祝品の授与)

本校の鹿島中学校同窓会入会式を3月10日（金）午後12時から行いました。ご多用中にもかかわらず、宮田弘幸同窓会会長をはじめ、和泉ひで子副会長、佐藤光子幹事の役員の方々にご出席いただき、ご挨拶を頂戴し、入会の心構えを伝えていただきました。本校の卒業生104名が同窓会に入会し、阿部紗也さんが卒業祝品を授与され、錦織 颯さんが同窓会入会の誓いの言葉を述べました。



(誓いの言葉)

### 【感謝の集い】

(生徒会本部のエール)



震災後、鹿島中学校の校庭を学習の場として変更せざる終えなかった鳩原・小高・福浦・金房の4小学校の児童の皆さんが、御礼の意味を込めて、3月3日（金）「感謝の集い」を開催していただきました。

およそ5年間という長い年月に渡って敷地内に仮設校舎や仮設体育館にて、小高区の小学校のためにささやかではありましたが、敷地や特別教室等の施設面での支援をいたしました。

小学校の児童の皆さんからは、感謝の言葉や各学校の校歌を歌うことで感謝の気持ちをみんなで表していただきました。4校の代表児童からは、校舎を建てさせてもらった感謝や中学生とのかかわりについての思い出などが発表されました。そして、中学校の生徒たちからは、応援団によるエールや吹奏楽部による演奏、全校生徒による南相馬市民の歌などを贈り激励いたしました。小高区の小学校の仮設校舎が鹿島中学校にあったという歴史は終わりを迎えようとしています。東日本大震災を語る中でいつまでも忘れることのない出来事にしていきたい



### 【学級編成の方針と振り返り】

本校では、今年度同様、進級時に少人数学級（現1学年のみが該当です。）による学級編成替えを実施いたします。この時期は、現学年で身に付けるべきことを修めたか、もしそうでなければ、学び返しが進んでいるか、また、次学年での自分の課題は何か分かり、それらを克服するための心構えができていかなど、学校生活の来し方行く末を考える時でもあります。特に、1年間の積み上げがきちんとできているかを顧みる機会です。そのうえで、残りの中学校での時間を味わいながら過ごしてほしいと思います。各学年とも、年度が変わり新しい環境でのスタートとなりますが、これまで培ってきた自分の力を信じて、また、これからの自分の成長を目指して、そして、学校の伝統を結んでいくのだという意識をもって学校生活を積極的に過ごしてほしいと願っています。

